

国内旅行に関する調査データ
～今後1年間で出かけた国内旅行 編①～

2024年8月

朝日大学マーケティング研究所

- 調査手法 : WEBリサーチ
- 調査期間 : 2024年 6月10日 (月) ~ 6月18日 (火)
- 調査対象 : 首都圏在住の男女 18歳~59歳
- 有効回答 : 480名

【内訳】

	男性	女性
18~29歳	60名	60名
30~39歳	60名	60名
40~49歳	60名	60名
50~59歳	60名	60名
合計	240名	240名

※今回は「国内旅行」を以下のとおり定義づけて調査を行った

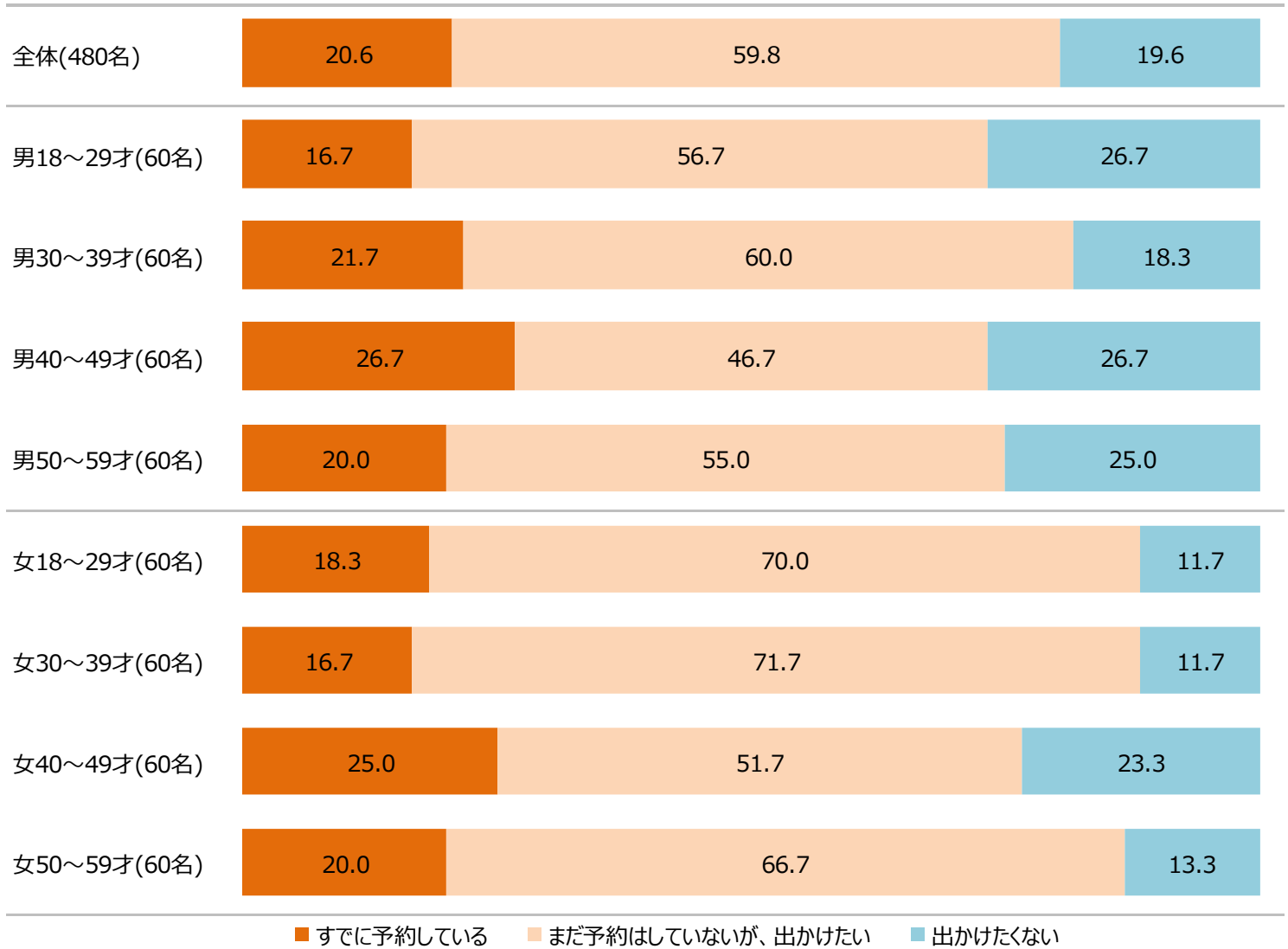
- ・宿泊を伴う国内旅行であること
- ・日帰り旅行は含まない
- ・帰省、出張、修学旅行は含まない
- ・海外渡航を伴う国内旅行は含まない

- 今後1年間における「宿泊を伴う国内旅行」についてポジティブな意向（「すでに予約している」と「まだ予約はしていないが、出かけたがたい」の合計）を持つ層が8割以上（80.4%）を占めた。
- ポジティブ意向の割合は、各年代で男性より女性のほうが高く、女18～29才と女30～39才（ともに88.3%）で特に高い。

Q1_2. 今後1年間で「宿泊を伴う国内旅行」に出かけたがたいですか。(SA)

N=全員

単位：%

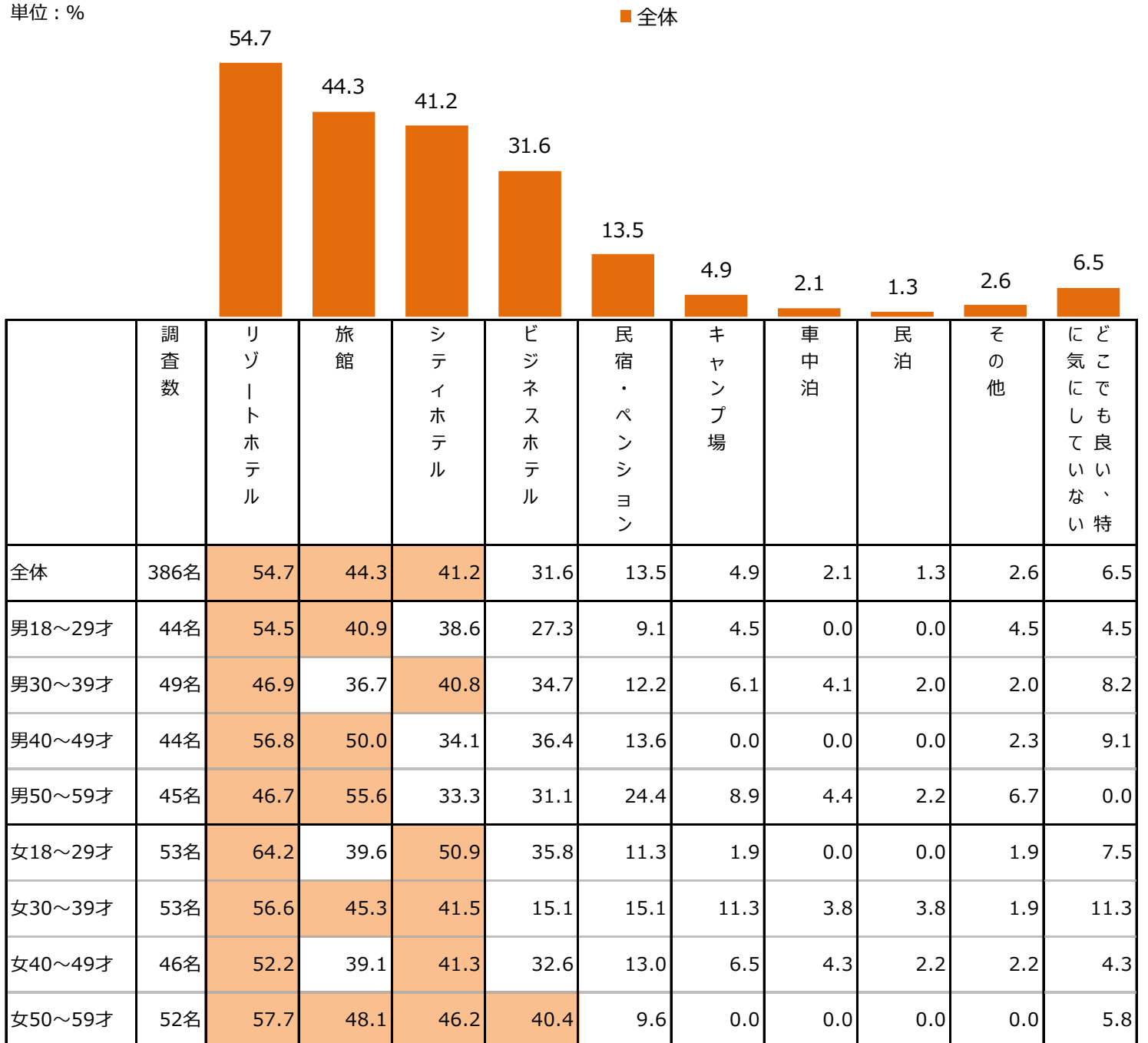


- 今後1年間に出かけたい「宿泊を伴う国内旅行」で希望する宿泊施設としては、「リゾートホテル」(54.7%)の割合が最も高く、「旅館」(44.3%)と「シティホテル」(41.2%)が4割台で続く。
- 「リゾートホテル」の割合を同年代で比べると、40~49才を除き男性より女性のほうが高い。
- 「旅館」は男性の40~49才(50.0%)と50~59才(55.6%)で5割以上と高い。
- 「シティホテル」は各年代で男性より女性の割合が高い。

Q6.次回の「宿泊を伴う国内旅行」ではどの宿泊施設を利用しますか、または利用したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

n=今後1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけたい人 (Q1_2=「すでに予約している」「まだ予約はしていないが、出かけたい」)

単位：%



※ハイライトは40%以上

3. 今後1年間に出かけたい国内旅行における希望の目的

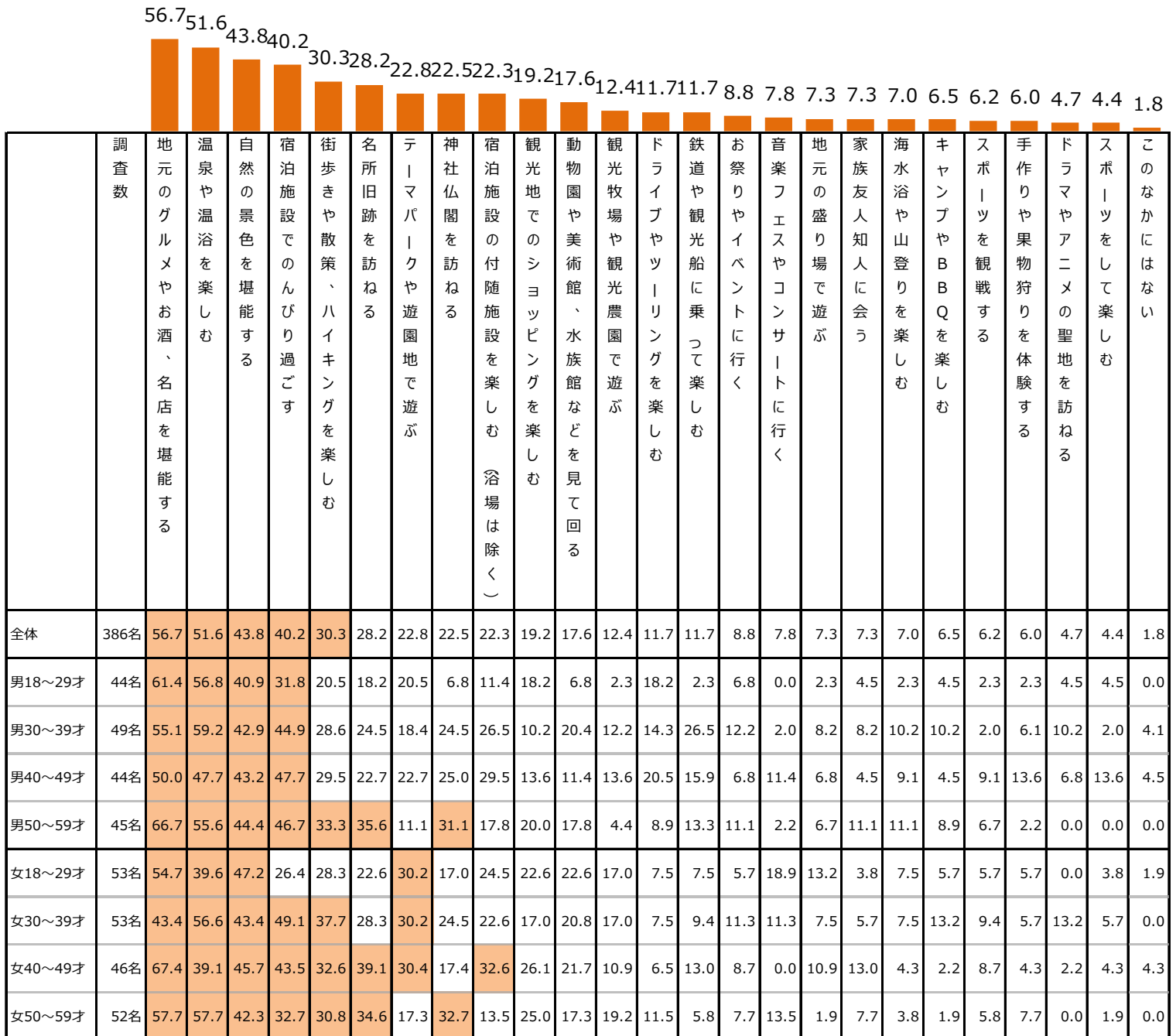
- 今後1年間に出かけたい「宿泊を伴う国内旅行」の目的では、「地元のグルメやお酒、名店を堪能する」(56.7%)と「温泉や温浴を楽しむ」(51.6%)の割合が5割を超えている。
- 「自然の景色を堪能する」(43.8%)と「宿泊施設でのんびり過ごす」(40.2%)も4割台で上位となっている。

Q7.次回の「宿泊を伴う国内旅行」の目的は何ですか、または希望する目的は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

n=今後1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけたい人 (Q1_2=「すでに予約している」「まだ予約はしていないが、出かけたが」)

単位：%

■全体



※ハイライトは30%以上

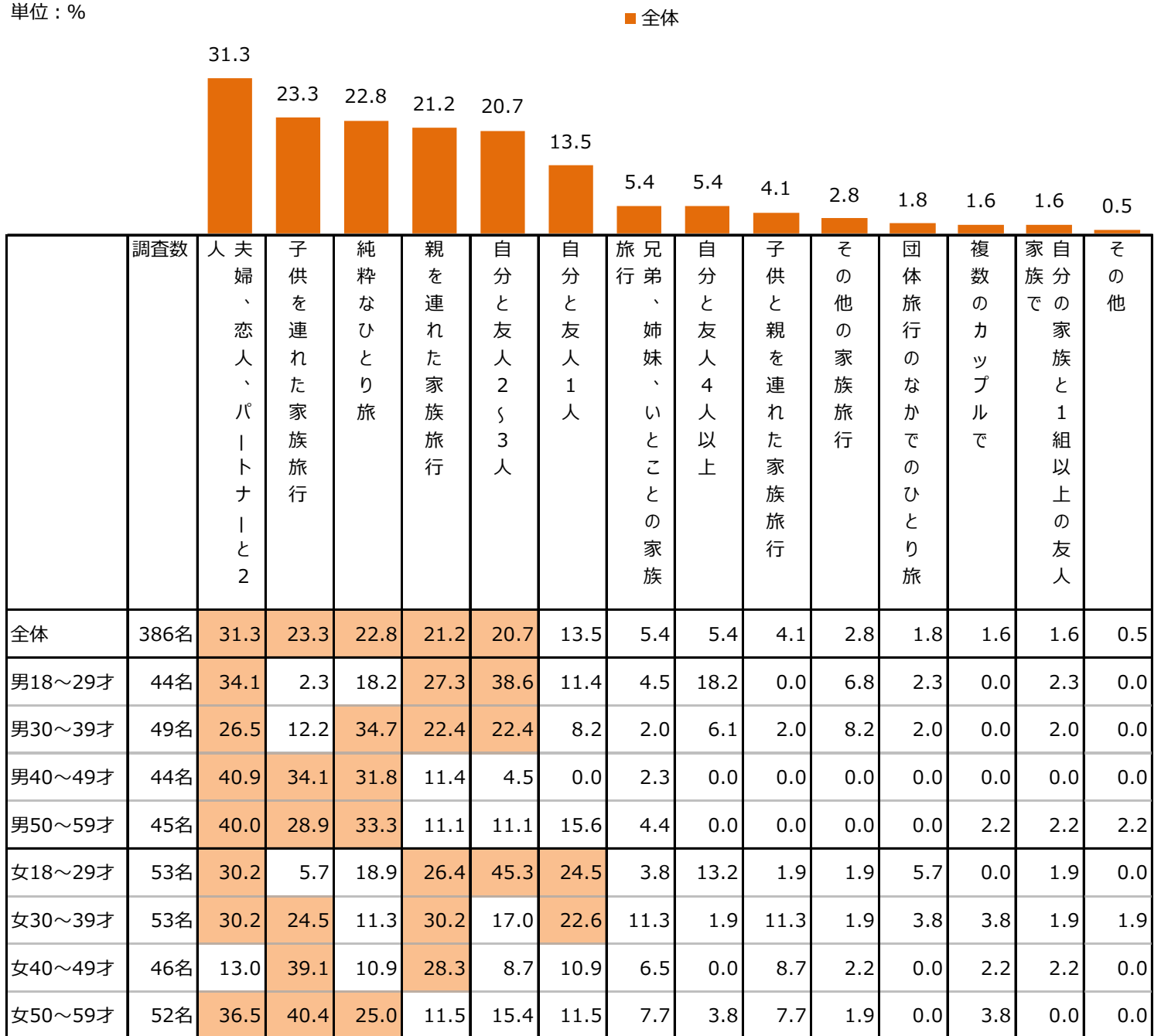
4. 今後1年間にしかけた国内旅行における希望の顔ぶれ

- 今後1年間にしかけたい「宿泊を伴う国内旅行」の顔ぶれでは、「夫婦、恋人、パートナーと2人」(31.3%)の割合が最も高い。
- 「子供を連れた家族旅行」(23.3%)、「純粋なひとり旅」(22.8%)、「親を連れた家族旅行」(21.2%)、「自分と友人2~3人」(20.7%)が2割台で続く。
- 「子供を連れた家族旅行」は40~59才、「純粋なひとり旅」は男30~59才、「親を連れた家族旅行」は18~39才、「自分と友人2~3人」は18~29才、でそれぞれ割合が相対的に高い点の特徴。

Q8.次回の「宿泊を伴う国内旅行」に出かける顔ぶれを選んでください、または希望する顔ぶれのパターンをすべて選んでください。(MA)

n=今後1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけたい人 (Q1_2=「すでに予約している」「まだ予約はしていないが、出かけたい」)

単位：%



※ハイライトは20%以上

● 今後1年間の旅行意向は8割以上

今後1年間における宿泊を伴う国内旅行の意向は80.4%であり、そのうち「すでに予約している」が2割（20.6%）を占めた。性年代別でみると、各年代で男性より女性のほうが高く、18～29才で男女差が最も大きかった（14.9ポイント差）。若い女性を中心に、国内旅行にポジティブな層が多くみられた。一方で「出かけたくない」としたのは全体で2割未満（19.6%）に留まった。

新型コロナウイルス感染症の5類移行から約1年が経過したが、現時点での人々の国内旅行に対する意欲は高いレベルにある。円安で海外旅行に掛かる費用が割高となっており、国内旅行の需要が高い。

● 宿泊の最有力候補はリゾートホテル

今後1年間に出かける国内旅行で希望する宿泊施設としては、「リゾートホテル」（54.7%）が1番人気であり、次いで「旅館」（44.3%）と「シティホテル」（41.2%）の割合が高かった。「リゾートホテル」と「シティホテル」は男性より女性の割合が高く（「リゾートホテル」の40～49才を除く）、「旅館」は男女の50～59才で相対的に割合が高かった。

「民宿・ペンション」（13.5%）、「キャンプ場」（4.9%）、「民泊」（1.3%）の希望は低調で、今後の国内旅行での有力な宿泊候補先は、上位3業態に「ビジネスホテル」を加えた4つに絞られる。

● グルメ、温浴、自然鑑賞が国内旅行の主な目的

今後1年間に出かける国内旅行で希望する目的としては、「地元のグルメやお酒、名店を堪能する」（56.7%）と「温泉や温浴を楽しむ」（51.6%）の割合が5割以上と高かった。「自然の景色を堪能する」（43.8%）と「宿泊施設でのんびり過ごす」（40.2%）が4割台で続いた。目的地で活発に身体を動かすというより、ゆっくりと静養しながら英気を養う旅行スタイルが望まれている。

その他の目的としては「歩く」が有力であり、具体的には「街歩きや散策、ハイキングを楽しむ」（30.3%）、「名所旧跡を訪ねる」（28.2%）、「神社仏閣を訪ねる」（22.5%）があてはまる。一方で、祭りや音楽フェスなどのイベントや遊園地や水族館などの施設を希望の目的とした割合はあまり高くなかった。

● 家族旅行が中心、20代は友人と

今後1年間に出かける国内旅行で希望する同行者の顔ぶれとしては、「夫婦、恋人、パートナーと2人」（31.3%）の割合が最も高く、「子供を連れた家族旅行」（23.3%）、「純粋なひとり旅」（22.8%）、「親を連れた家族旅行」（21.2%）、「自分と友人2～3人」（20.7%）が続いた。カップル（2人）を中心に家族旅行の希望が上位を占めた。同行者として友人を希望したのは主に18～29才であり、その際は本人を含む3～4人の想定が最も多かった。また男性30～59才では「純粋なひとり旅」を希望する割合も高かった。

国内旅行の同行者として希望する顔ぶれは、属性によって傾向が異なるため、グループにフィットした多様な提案が求められる。

トピックスリサーチ

国内旅行に関する調査データ ～今後1年間で出かけた国内旅行 編①～

発行日 2024年 8月 31日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所

〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積1851

TEL : 058-326-1173

お問い合わせ marketing@alice.asahi-u.ac.jp